



No. 312

Jan

2021

I M A G I N E C O M M U N I C A T I O N

あけましておめでとうございます

コロナ禍で駆け抜けた2020年は、「艶髪」をテーマに、

髪のパツを第一に考えコロナ禍の日々も研究、進化してまいりました。

その甲斐があり、特にストレートの分野とヘアカラーの分野で多くのお客様にご満足いただけたと自負致しております。

今年2021年は・・・まだまだコロナ禍の中において
今一度、「安心・安全」をテーマに取り組みます。

- ヘアカラー(白髪染め)では、
パラフェニレンジアミン(アレルギーやかぶれに対する感作性)が
排除された薬剤に変更します。(春には完全移行予定)
- パーマ剤でも、
髪・地肌に特に優しい薬剤のラインナップを拡大します。
- スカルプの分野でも
イーラル(地肌に特化したメーカー)使用を徹底します。

等々、薬剤部門でも「安全・安心」を強化してまいります。

もちろん「店内やスタッフの感染対策の強化」等々は引き続き
全力で取り組んでまいります。

今年もよろしく願い申し上げます。

有限会社IMAGINE 代表取締役 深沢孝裕



staff
column

『人の老化は 34・60・78歳で 急激に進む』らしい。

血中のたんぱく質の測定によって、人の健康状態を診断できることは広く知られていますが、昨年、血中のタンパク質レベルによって、人の年齢も予測できることがわかりました。スタンフォード大学の研究チームが、18～95歳までの4,263名から得た血液サンプルで、タンパク質を分析した結果をまとめた論文によると、老化は一定のペースで継続的に進行するのではなく34歳の青年期、60歳の壮年期、78歳の老年期、の3つポイントで急激に進むことが示されています。タンパク質は身体を構成する細胞からの指示を実行する働きを担っているので、タンパク質レベルの大幅な変化は身体の変化を意味し、大体3年程度の誤差での予測が可能です。そして性別によっても老化のプロセスが違うことも注目です。

(八戸ノ里店 田中)

西井の

ビューティーコラム

「マスク老化の予防と対策」

マスク老化の予防と対策におすすめなのが、表情筋のトレーニングと頭皮マッサージ。

例えば、舌でほうれい線を口の中からプッシュしグルグル押し流す。
普段から口角をあげ笑顔作りを意識して、顔半分の表情を動かし筋肉に刺激を与える。

頭皮マッサージで凝りを解消する事で顔の筋肉の動きも良くなります。

目の開きやすくなったり、口元のもたつきも引き上がります。

顔の表情が緩んでいる時間が長くなるほど顔は緩みやすくなります。

マスクをしているからといって油断せず、表情を豊かにしたり頭皮ケアを意識してマスク老化の改善予防に。